

ハンガーゼロ(日本国際飢餓対策機構)は、イエス・キリストの精神に基づいて活動する非営利の民間海外協力団体(NGO)です。1981年に誕生して以来、世界の貧困・飢餓問題の解決のために、自立開発協力、教育支援、緊急援助、海外スタッフ派遣、飢餓啓発を行っています。現在は、国際飢餓対策機構連合(Food for the Hungry International Federation)の一員として、20カ国、国内外の80のパートナーと協力し、アジア、アフリカ、中南米の開発途上国で、「ここからだの飢餓」に応える活動をしています。

わたしから始める、世界が変わる

1分間に17人(内12人が子ども)  
1日に2万5,000人が  
1年間では約1,000万人が  
飢えのために生命を失っています

# Hunger Zero News

ハンガーゼロ・ニュース

## 能登半島地震被災者支援で 東大阪中学生が募金活動

能登半島地震の被災者支援のため、東大阪市立義務教育学校くすは縄手南校の中学生の皆さんが、校区の商店街や駅前募金活動をして、2月19日に募金225,025円を大阪事務所に届けてくださいました。



温かい応援を心より感謝いたします。被災者支援活動に用いさせていただきます。



## コーヒー3袋セット キングダムビジネスから

味わい深いエチオピア・モカブレンドコーヒーとしてご好評いただいている、ハンガーゼロコーヒーの3袋セットです。世界の人々に思

いをはせながら、おいしいコーヒーはいかがでしょうか。3袋セットを全国一律で送料込み3,300円でお届けします。

1袋(200g)の場合950円に送料520円となります。

お支払い: 銀行振り込み、または郵便振替の後払い

※送金はキングダムビジネスまで。

お申し込み:

(株)キングダムビジネス  
スマートフォンは右のQRコードから

電話注文: 06-6755-4877



## 【ウクライナ緊急支援募金】

募金は…①郵便振替 ②ホームページからのクレジットカード決済利用の2種類

①郵便振替 00170-9-68590 一般財団法人日本国際飢餓対策機構 「ウクライナ緊急支援」と明記

②ホームページ 募金画面からクレジットカード、コンビニ決済がご利用いただけます。※現地の活動はFacebookでも報告しています。



あなたの祝福を分かちませんか  
Giving Back  
わたしから始める…愛の恩返し

## 遺贈寄付

顧問弁護士が無償でご相談お手伝いします

Zoom無料セミナー 次回は2024年4月23日

「参加希望者」は jifhtokyo@gmail.com メールまたは電話で



東京事務所・近藤 TEL.03-3518-0781

詳しくはお電話で説明しますのでご連絡をお待ちしています

専門講師(弁護士)による出張個別相談もできます

## サポーターお申込み欄 FAX072-920-2155

氏名	フリガナ	姓	名
(TEL)			
住所	〒		
申込日	年	月	日 NL405号
<input checked="" type="checkbox"/>	下記から希望されるものをお申し込みください		
<input type="checkbox"/>	ハンガーゼロサポーターとして協力します。		
	<input type="checkbox"/>	①毎月( )円	(1口1,000円)
	<input type="checkbox"/>	②一時募金として	円協力します。
<input type="checkbox"/>	継続募金(JIFH サポーター)として協力します。		
	<input type="checkbox"/>	毎月( )円	(1口500円)
<input type="checkbox"/>	チャイルドサポーター(子ども1人毎月4,000円)の説明書(申込書)を送ってください。		
<input type="checkbox"/>	郵便自動引落し申込書を送って下さい。		
<input type="checkbox"/>	その他の銀行自動引落し申込書を送って下さい。		

上の申込書をコピーして、必要事項を記入の上、FAX又は郵送にて大阪事務所までお送りください。確認書類等を送らせていただきます。お電話やウェブサイトでも申し込みできます。

※記入後にスマホで撮影し、下記メールアドレスにお送り頂いても受付いたします。



Hunger Zero News 今月号の内容	
大阪マラソン/ランナー体験記	P.2
スタッフの活動地訪問報告	P.3
続報・能登半島地震緊急支援	P.4-6
物資支援レポート(アフリカ)	P.7

ハンガーゼロの森 祐理親善大使が被災地慰問

ハンガーゼロ サポーター 現在...5330 Child Supporter チャイルドサポーター 現在...1155人

■発行 清家弘久

■発行所 一般財団法人 日本国際飢餓対策機構



Webサイトアドレス <http://www.hungerzero.jp>  
eメールアドレス [general@jifh.org](mailto:general@jifh.org)  
フェイスブック facebook でハンガーゼロで検索

■募金方法 ※各種方法で随時受付中、詳しくは電話やウェブサイト  
①郵便振替 00170-9-68590 一般財団法人日本国際飢餓対策機構  
②他の金融機関からの自動振替③クレジット、デジタルコンビニ



「つながる募金」(旧かざして募金)に変わりました。ソフトバンクスマホの方は、Tポイントで募金ができます。

●Tポイントを利用して「南スーダン・マブイ小学校給食支援」ができます。現在までに1,707,404ポイント(円)のご協力(25,597件)がありました。Tポイント募金で検索。  
●「つながる募金」はスマートフォンからご利用できます。募金は、ソフトバンクモバイル(株)経由となります。詳しくはウェブサイトをご覧ください。

大阪 〒581-0032 八尾市弓削町3-74-1  
(広島/沖縄) TEL (072)920-2225 FAX (072)920-2155  
東京 〒101-0062 千代田区神田駿河台2-1 OCCビル517号室  
(東北) TEL (03)3518-0781 FAX (03)3518-0782  
愛知 〒460-0004 名古屋市中区新栄町2-3 YWCAビル6F  
TEL (052)265-7101 FAX (052)265-7132  
USA Ainote International c/o Mr. Takehiko Fujikawa  
8010 Phaeton Dr. Oakland, CA94605  
TEL(510)568-4939 FAX(510)293-0940





# 飢餓に苦しむ人々のために走ることができたことは誇り



2月25日に開催された「大阪マラソン 2024」には、6名のチャリティランナーさんがハンガーゼロを寄付先団体としてエントリーされ、募金に協力してくださいました。ランナーのお一人の京牟礼優さん(奈良高畑教会員)から参加にあたっての取り組みや大会当日の感想をいただきました。

今回は生まれた時からお世話になっている奈良高畑教会とそのつながりのあるハンガーゼロとのご縁をきっかけに初めてチャリティーランナーとしてエントリーをしました。

まず「出走権獲得の7万円の募金集め」、「サブ3」(Sub-three-hours = フルマラソンで3時間を切ること)、「笑顔で完走」を目標に設定しました。そのために教会 SNS (ネットワークツール) でハンガーゼロの活動を発信してアピールを心がけました。また練習では週5回、月間200kmを走って当日までにコンディションを整えていきました。

結果、多くの方の支援で目標額7万円を達成することができ、同時に最高の走りでお返しをしたいという想いが強くなりました。



京牟礼さん

当日は今までのどの大会よりもプレッシャーのかかるスタートでしたが、走り出すと体は軽く、応援してくれた教会員一人一人の想いの詰まったタスキが背中を押してくれました。30km以降の足の重みも無く、心と体を支え続けてもらっていると感心しながら笑顔で走り切ることができました。タイムは2時間56分20秒、念願だった目標のサブ3も達成しました。

今回、個人として結果を残せたことはもちろん、チャリティーランナーとして世界中の飢餓に苦しむ人々の為に走れたことをとても嬉しく、誇りに思います。最後に、募金の呼びかけに応じてくれた方、スタートラインに立たせてもらったこと、完走まで支えてくれた全ての方々に感謝します。



今年も八尾トヨー住器から淡島・中世古・白井さん



吉本さんも2年連続で完走

福岡から参加の佐伯さんは医師



大会2日前のEXPO会場で団体アピールをしました



報告: 門 紅琳  
(チャイルドサポーター担当)

2月22日~3月1日、西南学院大学のフィリピン・ワークキャンプに引率として安達スタッフと同行しました。私にとってFHの活動地訪問は初めての機会であり多くのことを学ばせていただきました。



西南学院大学キャンプ参加メンバー

## 参加学生の素朴な疑問から支援の意義と向き合う

関西空港からマニラ中心にあるニノイ・アキノ空港まで約5時間。降り立つと、30度を超える猛暑。都市マニラは高層ビルが立ち並び、渋滞する車道の脇では物乞いが多く見受けられました。また川沿いには台風がきたら飛んでしまいそうな家が建ち並び、マニラの街の活気と貧困が同時に感じられました。この現実をどう捉えて、私たちに何ができるのかについて考える機会になりました。



### この活動の意味？

今回の訪問では、同行した学生たちが地元の小学校や教会で保健衛生の大切さを伝える活動をしました。また音楽やダンス、折り紙を通じて地域の人たちと文化交流を行いました。フィリピンで出会った方々は一見シャイでも、目が合うと笑いかけてくれて、楽しいことや冗談が大好き。何かしてあげたいという気持ちが強く、手紙や手作りのプレスレットをプレゼントしてくれました。そんな毎日の活動の中で、学生さんから『フィリピンの人々にたくさん良くしてもらっているけれど、私たちの活動が本当に貧困や助けが必要な人にとって意味があるのだろうか』という声がありました。

### 耳を傾け手を差し伸べられる者へと

今回の貴重な経験から得た気づきを胸に、フィリピンで出会った人々が、私たちに温かい言葉や優しさを分け与えてくれたように、私は助けが必要な人に耳を傾け、手を差し伸べられる者になれるよう努めていきたいです。そして少しでも多くの人々の笑顔や幸せに貢献していきたいと心から願っています。

FH= 国際飢餓対策機構

※次号5月号で西南学院大学の参加メンバーの体験記を掲載する予定です。ハンガーゼロは同大学と包括的な連携・協定を締結しています。

備蓄をしながら社会貢献



世界にパンを届けよう



皆様から回収された救缶鳥は各地に飛んでいきました!

食料が不足している、国内外の豪雨・地震等の災害被災地や、海外の飢餓地域等へ送られました。



おいさと夢をお届けします。

株式会社パン・アキモト

パンの缶詰 since 1995

〒329-3147 栃木県那須塩原市東小屋295-4  
TEL 0287-65-3351

パン・アキモト 検索



## 被災者支援活動は徐々に復興に進む

ハンガーゼロは2月19日～23日、スタッフ2名とボランティア1名を能登半島地震被災地に派遣し、今回は主に能登ヘルプの（能登地震キリスト災害支援会）活動に参加、複数の災害支援団体の関係者、またボランティアの方々と共に、能登ヘルプの黄緑ビズを着て、一つのチームとなって被災者支援に当たりました。（報告：北田京子スタッフ）



炊き出し支援に参加した北田、藤谷スタッフ（左端・前後列）

方々から応答があったということで、今回は私たちがお手伝いをさせていただくことになりました。

支援を依頼された高齢の男性は、私たちの作業を静かに見守っておられました。4人で作業を数時間し、私たちが帰ろうとした時、ビニール袋をそっと差し出してくださいました。中にはペットボトルの水が人数分入っていました。断水で飲み水が不足している大変な中で、ご自分の大切な水を分かち合おうとされたその方のお気持ちにとても温かい気持ちになりました。

トラス夫人は、「皆さんが外からこのように来てくださったことに感謝しています。住民の方々も皆さんに長く支援をしていただきたいと望んでいます」とおっしゃっていました。

高速道路で被災地に向かっている時に目にしたのは、何台もの自衛隊の災害派遣部隊の車両。また現地では交通整備を担っていた大阪府警や和歌山県警の警察官。能登半島地震の被災地域と人々の必要のために、多くの行政、団体、人々が関わり様々な活動を続けられていました。

今後、本格的に家屋の片付け、瓦礫の撤去作業など継続的なボランティアの力が必要となります。地域の方々に寄り添いながら、被災地域の方々に仕え、私たちにできることを行動に移す支援の輪が広がることを願います。

オクダデザインプロジェクト 施工例  
デザイナーズガレージハウス

OKUDA DESIGN PROJECT.

貸したい時も、借りたい時も。不動産賃貸のご相談は—

株式会社  
オクダコーポレーション  
〒197-0003 東京都福生市熊川447-9  
042(552)0102  
インターネットでお部屋探し <https://okuda-re.co.jp>



活動内容は、七尾市にある能登ヘルプの支援物資の倉庫の整備や家屋の片付け、輪島市門前町走出にある門前聖書教会の近隣に住む方々の家屋の片付け、屋根から落ちて割ってしまった瓦の撤去作業、また近くの老人ホームへの水の運び入れ、LOVE EAST（協力団体）の炊き出しのお手伝いなど、日々の活動内容は異なりました。

それ以外の活動として、羽咋市で炊き出しをするために駆けつけて来られた韓国・石巻・東京からの韓国人チームの皆さんの手伝いもさせていただきました。避難所で生活をしている方々に温かいチヂミやチャプチェ、またハンガーゼロからはパンの缶詰をお渡ししました。

## 教会を通じてボランティア支援を実践

門前町は断水により、多くの人々の生活に大きな支障が出ていました。能登ヘルプが支援の要請を受けた門前聖書教会のトラス宣教師ご夫妻（P.7に写真掲載）も、断水のためにトイレは近くの川の水を汲んできて流すなどして対応されていました。トラス宣教師夫人によれば、地域の人々の心がようやく片付けを始めようと動き出してきたとのこと。地域の方々に「教会にボランティアが来てくれるけど、何かお手伝いしてほしいことはないか」と尋ねると、何人かの

## 募金はクレジットカード又は郵便振替で



左のQRコードからすぐにオンライン募金ができます。クレジットカードやコンビニ決済がご利用できます

【郵便振替での送金は】  
00170-9-68590  
日本国際飢餓対策機構  
「能登地震緊急募金」明記



## 懐かしい歌を口ずさみ心をやかに

門前町の「もんぜん楓の家」には現在40名近くの方が入居されていますが、半数近くは地震で自宅が全半壊し、一時避難先として利用しておられます。森さんはお一人お一人に優しく寄り添いながら、唱歌や懐かしい歌謡曲を歌われました。自然と皆さんからも歌声が広がっていきました。

楓の家施設長の岡山さんは「一時避難のために要介護者が入られると、さらに認知が進んだり、体に変調をきたすのではとの声をよくお聞きするのですが、実際はその反



対なのです。地震によりいろいろなことで私たち職員も被災し手一杯の中、それを見て入居されている方が、『自分も頑張らないと』というような思いになってくださり、車椅子だった人が立ち上がった、自分でできることを始められたり、本当に私たちもびっくりしています。今まで介護しすぎていたのかと、今回皆さんを見て学ばされています」と語ってくださいました。

## 森さんとの再会を喜ぶ門前聖書教会の方々

同施設訪問は、地震直後から地元で能登ヘルプやハンガーゼロらと物資支援や炊き出しなどの被災者支援を続けている門前聖書教会のトラス美保さんと教会員の谷さん、平井さんも同行されました。森親善大使とは、2007年の能登半島沖地震後の慰問コンサート（ハンガーゼロが応援）やその後の同教会50周



## 森親善大使が福祉施設を慰問

ハンガーゼロ親善大使の森 祐理さんが3月11、12日に輪島市門前町の「もんぜん楓の家」と七尾市中島町の「秀楽苑」ほか4つの福祉施設を訪れ、歌とお話して入居者や通いの利用者、地震で施設に一時避難をされている高齢の方々に励まされました。



年記念事業で招いた経緯があり、谷さんと平井さんは森さんとの再会を非常に喜んでおられました。

## 最初の二次避難対象施設でした…

七尾市の「秀楽苑」には当初80名の入居者がおられましたが、地震でライフラインが駄目になり、石川県下の被災地でも一番最初に2次避難の対象施設となって近隣の富山県などに全員避難されています。この日は、近くで暮らすデイサービス利用の20名近くの方が、森さんの来訪を聞いて喜んで集まってきてくださいました。また職員さんからは「コロナ以来、こうした慰問をしていただけるのは3年ぶり、利用者さんだけでなく私たち職員にもとても励みになりました。本当によかったです」との声を聞き、森さんも大変喜んでおられました。

森さんは、翌12日午前にも羽咋郡の2施設を慰問、歌とご自身の被災経験も交えて皆さんに寄り添われました。なお5月にも再び慰問活動をしていただく予定です。

今回の施設訪問は、キングスガーデン 埼玉の大上仁さんと危機管理教育研修所の国崎信江理事長（内閣府の防災関連の委員）の調整で実現しました。国崎氏は災害時の福祉現場の支援で様々な取り組みをされています。



高知ペンテコステ教会隣接のクリニック

医療法人オリーブ  
大川内科  
循環器内科・内科・老年内科  
院長 大川 真理



## 珠洲市津波被害地

地震発生後にすぐに高さ3メートルを超える津波が押し寄せた珠洲市鶴飼漁港沿岸部には激しく壊れた建物や流された車が残ったまま。ほとんどの人々が避難しているため静まり返っていました。



## 珠洲市/タカイさん (3月14日)

実はこの自宅は昨年5月の珠洲地震で中規模半壊となりその後は仮設住宅で暮らしていました。ここは3月に解体するはずでした。あの日、ここで飼っていた猫に餌をやりに来ていて帰りの車に乗った途端に地震が来ました。もの凄く揺れで車の下のマンホールも上がってきてびっくりしました。ご近所さんも全壊になってしまいました。珠洲ではすでに窃盗が50件、テレビや発電機がなくなったと聞いています。自宅の解体は120万円まで市に負担していただけることにはなっていますが、この地震でどうなるのかまだわかりません。



## 珠洲市/桶田さん (3月14日)

家(後方)はもう全然だめで、私たち四姉妹家族みんなで家財の片付けにきました。家は赤紙判定だからボランティアさんは入れないので私たちでやっています。元日の地震の時はここに3人でいてとても怖かったです。とにかく地震直後は、道路状況が悪くなかったもので、金沢からの人は7、8時間もかかりました。こうして今日初めて、やっとみんなで来ることができたのです。物資の配布や自衛隊さんのサービスもそろそろ終わると聞いているので、このパンの缶詰や毛布や靴下もとても嬉しいです。



## 輪島市/美容室・吉田さん (3月13日)

電気もどって2月13日からお店を再開しました。ただ水はまだなのでカットだけ始めました。いまは少しずつ予約をいただけるようになりました。輪島では再開した美容室もまだ少ないので新規のお客様もおられます。ただ予約がない時は無理せずに早めに閉めることもあります。下水の関係で髪染めやパーマができないため売上の厳しいです。この仕事は続けていきたいと考えていますが、将来のこともいろいろ考えたりもしています。街の復興はゆっくり進んでいる感じがあまり実感はありません。

## 被災者に寄り添う活動をこれからも継続します



建物の倒壊が激しい現場には、プロの職人で構成された重機チームを派遣して撤去を助けています。



協団体のLOVE EASTはブロック塀や石垣の撤去をしています。(手前2人はハンガーゼロが派遣したボランティア)



輪島聖書教会の荒川先生(中央)は、教会をボランティアセンターに開放される予定。(©門スタッフ)



物資支援は被災者からの求めに合わせて継続中。(©中村スタッフ)



門前町で被災者支援に尽力されているトラス宣教師夫妻

## 物資支援レポート

FH= 国際飢餓対策機構

ハンガーゼロはFHカナダとの協働により2023年も世界の最貧国であるブルンジと南スーダンに物資を届けることができました。

## ■ 南スーダン ■

## 紛争から逃れてきた避難民キャンプで

2023年4月にスーダンで勃発した紛争により、800万人以上が国内外で避難を強いられ、スーダン全土で多くの人々が緊急性の高い食料不安に陥る事態となっています(\*2024年2月時点)。数百万人の子供がコレラやマラリア等の危険にさらされ、子どもの3人に1人が学校に通っていません。

援助物資の医薬品15箱は6月に南スーダンの首都ジュバに到着、現地パートナーのニューテストメントキリスト教会の担当者が受け取りました。東エクアトリア州のパジョクとジュバにある2つの避難民キャンプから代表者が来て医薬品を持ち帰り、それぞれのキャンプで用いられました。医薬品を受け取った人々は長期にわたる独立戦争によって避難民となった人々で、未亡人や孤児、傷病者などです。パジョクでは大人と子ども合わせて500人でした。



## ■ ブルンジ共和国 ■

## 食料が最も必要な生活困窮者を対象に

ブルンジ共和国は、国民の多くが貧困ライン以下の生活を強いられている最貧国の1つで、今も情勢が不安定な中、2024年1月現在25万9千人以上※の人々が国内外で避難生活を送っています。

2023年5月、援助物資のスープミックス1,000ケース(10袋入り)が、ブルンジ共和国に到着し、FHブルンジの活動地域で、食料を最も必要としている人々、孤児、傷病者、避難民、高齢者、囚人、未亡人などに配られました。

1人につき6箱、特に障がい者家庭、未亡人、食料不足で学校に通えない子どものいる家庭などには、より多くを配給しました。受け取った人々は、米やキャッサバ、芋などと食べる人もあれば、お金がなくてスープだけしか食べられない人もいました。食べ物の支援によって子どもたちは楽しく学校に通い、貧しい人々の健康状態は改善されますし、家族は飢えずに過ごせるので収入を得るために働く力も出ます。支援を受け取った人々は以前より健康状態が良くなり、生活も変化して希望を持つようになってきています。FHが行っている農業や小規模の養蜂や手工芸、縫製のプログラムに参加している人もいます。

人々が将来、外からの援助に頼ることなく自立できるようになるには、食料やそれ以外の物、様々なプログラムなどの支援がどれだけ届けられるかにかかっている、とFHブルンジのスタッフは述べています。



ジュバに避難している人はさらに多く、1つのキャンプに800人、もう一つには500人が登録されていました。これらの人々は南スーダンにおける2つの民族グループの衝突に巻き込まれた人々で、文民保護(Protection of Civilians)の対象となっています。

援助物資は人々にとても役立っており、医薬品の支援者に大変感謝しています。女性たちは、支援者にぜひ一度南スーダンに来てもらってわざわざ十分にお礼を言いたい、と言っていました。

(※数字はUNHCR国連難民高等弁務官事務所発表)